巻頭言

総長　西澤 潤一

この度東北大学では，これまでも活躍して来たTAINSに引き続き，更に最新の光通信技術と新世代の情報ネットワーク技術を先取りした総合情報キャンパスネットワーク，SuperTAINSの工事が完了いたしました。東北大学の各キャンパス間を更に超高速で結ぶ光通信ネットワークの誕生であります。この情報ネットワークはまた，マルチメディア対応という意味でも最先端のものであります。光通信は本学において生まれた独自技術であり，また，これは２１世紀に向けた最重要技術の一つであります。そのように考えると，文部省のご理解によってこのように先進的な情報ネットワークを本学が世界に先駆けて整備できたことは当然ともいえますが，それはそれとして，この間の関係者の努力には改めて敬意を表します。

この情報ネットワークは，東北大学の全ての構成員の情報流量を格段に大きくする力を持っています。日頃の研究のなかでふと不思議だと思ったことを，即座に調査し，更に深く思考することが可能となることでしょう。２１世紀に向けて，従来の枠にとらわれない発想に基づいた研究が特に強く求められているいま，優れた大学人の知的活動を極めて高い次元で支援して大きな成果を大量に出力することができる能力を持った情報ネットワークが，他大学に魁けて本学に完成したことは，まさに時宜を得たものであるといえましょう。

当然，このネットワークは世界に向かって開かれていかなければなりません。日本が真の国際化を果たすためには，文化や基礎科学，応用科学の広範な分野にわたって世界から尊敬を得る十分な情報を発信し続けることが期待されていますし，その期待に必ず応えてゆかなければならないと考えます。この情報ネットワークは，その意味でも極めて大きな役割を担うものといえましょう。

しかし，独創的な研究は，すばらしい装置があれば生まれるというものでないことは，多くの例が示しています。東北大学が，今後このような先進的なネットワークを如何に活用してゆくのが求められる所以であります。東北大学には，すでに人のやっているようなものはやるなという伝統があります。このSuperTAINSについても，送る情報内容がすぐれたものであるのは当然ですが，使い方についても他人がどう使っているからではなく，自らの創意工夫によってネットワーク利用技術を高めていくことが求められます。如何に研

究基盤を整備しようとも，それが使われなくては意味がありませんので，この情報ネットワークに多くの有用な情報が流れるように育てていただきたいものと考えます。

２１世紀の東北大学の栄光は，SuperTAINSを如何に活かしてゆくかにかかっているといっても過言ではないでしょう。現在の特性が不満足になる程の徹底した活用を期待します。